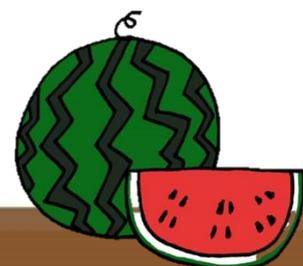


国立病院理学療法士協議会

九州部会

会報誌 No.25

Sep.2018



## 目次

巻頭言	1
会告	2
活動報告	3
地区活動報告	8
活動計画	11
議事録	14
会員投稿	17
役員名簿	19
第46期スケジュール	20

## ～続いていくもの 続けていくモノ～

国立病院理学療法士協議会 九州部会会長 坂本浩樹

夏が過ぎていきます。お盆は、先祖の精霊をお迎えして供養することを指します。地方や宗教によって風習が異なるようですが、先祖の霊を供養するという意味のもと、様々な風習が残っているようです。日本でお盆が行われたのは606年に推古天皇が「推古天皇十四年七月十五齋会」という行事を行ったのが最初だと言われているようです。1400年以上前の飛鳥時代のことです。お盆に親族が一堂に会す事は、先祖の供養と共にみんなで顔を合わせ「顔の見える関係」で、お互いの近況を確認し、改めて親睦を深める事で、意味のある行事だと思います。昔も今も同じでしょう。自分を見直す良い機会でもあります。

国立病院理学療法士協議会の活動は第45期を終わります。1期が1年だとすると、45年間活動していることになります。日本で国家資格の理学療法士が誕生したのが昭和41年ですので52年前の事です。日本で理学療法士が誕生してから7年後に国立病院理学療法士協議会は活動していることになります。発足時は会員数も少なく「顔の見える関係」で、お互いの意見を出し合い、議論を深めていたのだと想像します。先人たちの思いと共に現在があるのだと改めて感じます。

九州部会の目的は何かと思い、規約を見てみると「所属する理学療法士の学術・技能および倫理、人格の研鑽と各施設において行われる理学療法の質を高めることで、理学療法の普及・向上を図ること。また、理学療法従事者の地位の向上、および会員相互の親睦等を目的とする。」と記されています。キーワードは「研鑽」「普及・向上」「地位の向上」「親睦」と感じました。当協議会が発展していくためには、他の協議会の実績や活動も視野に入れる必要があります。協議会を取り巻く状況は変化しています。団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」、それに続く「超高齢化社会」「労働力人口の減少」「日本の経済活動の鈍化」「社会保障費の不足」等から「制度が変革していく」ことは目に見えています。医療や福祉を取り巻く環境の変化が激しくなる中、各施設ではこれまでの延長線上ではない革新的なアイデアやプランを創造していく必要があります。幸い当協議会の会員数は年々増加しています。しかし、そのことで相対的に「顔の見える関係」は薄くなっているのではないのでしょうか。

前会長の梶原秀明先生は、今年の会誌で「変革に対応していける能力を身に付け、柔軟に対応できる組織を作り上げていきましょう！」と述べられています。「種の起源」を提唱し世界に大きな影響を与えたイギリスの自然科学者チャールズ・ダーウィンの言葉を引用し「生き残るのは、変化できる者である」と。自分も同感です。今後の協議会活動も「顔の見える関係」を忘れず、お互いを理解し、時代の変化に柔軟に対応し、目的を少しでも達成できるように皆さんと共に進んでいきたいと思っています。

## 事務局より

平成 30 年度（第 45 期）国立病院理学療法士協議会九州部会総会開催のお知らせ

会員各位

国立病院理学療法士協議会 九州部会  
会長 坂本浩樹

記

会 期 平成 30 年 9 月 29 日 土曜日  
会 場 国立病院機構 福岡東医療センター内 研修センター  
住 所 福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1-1  
日 程

11:00～12:00	理 事 会
12:00～13:00	職場長会議
13:00～13:30	総 会 受 付
13:30～15:00	第 45 期 総 会
15:10～16:10	PT・OT・ST 合同研修会 テーマ：『世代間のギャップに注目して職場のメンタルヘルスについて考える』 講師 船小屋病院 精神科医師 森 良信先生
16:20～16:35	職場環境を考える会 アンケート報告 (PT・OT・ST 合同)
16:35～17:00	理学療法専門職・作業療法専門職との懇談会 (PT・OT・ST 合同)
17:30～18:30	懇親会 (PT・OT・ST 合同) 会 場 福岡東医療センター 研修センター 会 費 1,000 円 (当日徴収します) (お寿司・サンドウィッチ・お菓子・ジュースなど ノンアルコールです)

理事会・総会  
予 定 議 題

1. 第 45 期活動報告・決算
2. 第 46 期活動計画・予算案
3. リハビリテーション業務評価検討委員会の常設委員会の設置に関して
4. その他

## 国立病院理学療法士協議会 九州部会活動報告

### 第 45 期 活動報告

#### 総括

第 45 期は、役員が一部変わり新しい体制でスタートした。本部協議会行事として全国の理事会へ 2 回参加し、他地域との情報交換・共有を行った。部会の取り組みとして、職場長会議を 2 回開催し、各施設との意見交換・情報共有を行った。局活動では、「新人」「重度心身障害児（者）」「次世代のリーダー」「メンタルヘルス」と多岐にわたるテーマで研修を開催できた。また、施設リハ部門紹介を改訂し各施設へ配布した。会報誌を 2 回発行し、No.25 は業者へ依頼し作成した。今期からホームページが本部協議会管理となり、九州はいち早く情報をアップした。1 月の九州医療技術学会に多くの会員が参加し盛会裏に終える事が出来た。OT 協議会・ST 協議会との連絡会、プリセプター養成講習会も継続して行った。加えて、リハビリ業務評価検討委員会に参加し、九州地区独自の業務評価改善のツール作成を行った。

#### 活動内容

会 長 ・ 副 会 長	①本部協議会開催行事
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 32 回国立病院理学療法士協議会理事会 香川県高松市 (H29. 11. 19 坂本)</li> <li>・ 第 44 回国立病院理学療法士協議会総会 香川県高松市 (H29. 11. 19 坂本)</li> <li>・ 第 33 回国立病院理学療法士協議会理事会 東京医療センター (H30. 6. 9 坂本)</li> </ul>
	②九州グループ関係
	平成 30 年度 新規採用者研修 九州医療センター (H30. 4. 21 坂本)
	③九州部会関係
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リハビリ業務改善委員会 肥前精神医療センター (H29. 11. 24 坂本)</li> <li>・ 国立病院理学療法士協議会九州部会研修会 (H29. 12. 9)</li> <li>・ 国立病院理学療法士協議会九州部会職場長会議 (H30. 1. 27 坂本、藤崎、渡邊)</li> <li>・ リハビリ業務改善委員会 肥前精神医療センター (H30. 2. 2 坂本)</li> <li>・ リハビリ業務改善委員会 肥前精神医療センター (H30. 6. 1 坂本)</li> <li>・ 国立病院理学療法士協議会九州部会役員会 (H30. 6. 29 坂本、藤崎、渡邊)</li> <li>・ リハビリ業務改善委員会 肥前精神医療センター (H30. 7. 27 坂本)</li> <li>・ 理事会 職場長会議 総会福岡東医療センター (H30. 9. 29 坂本、藤崎、渡邊)</li> </ul>	
④国立病院九州医療技術学会協議会関係	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 11 回国立病院九州医療技術学会反省会 九州医療センター (H30. 3. 9 坂本)</li> <li>・ 平成 30 年度九州医療技術協議会理事会肥前精神医療センター (H30. 8. 31 坂本)</li> </ul>	
⑤PT・OT・ST 協議会連絡会 九州医療センター (H30. 6. 15 坂本)	

# 活動報告

理事会	理事会開催 第 22 回理事会 (H30. 8. 5 メール会議) 第 23 回理事会 福岡東医療センター (H30. 9. 29)
事務局	①文章発送 (随時) ②会員管理 ③会費徴収 ④総会、理事会、職場長会議議事録作成 ⑤協議会ホームページ管理 (HP 担当)
学会局	①第 11 回国立病院九州医療技術学会 運営応援 日時：平成 30 年 1 月 27 日 (土) 活動内容：学会当日の会場設営、受付業務 参加者：田中啓一郎 (九州がんセンター) 鶴田竜司 (福岡病院) 山野朋博 (佐賀病院) ②平成 29 年度業績集作成 平成 30 年 5 月 13 日に各職場長宛に平成 29 年度業績集を PDF にて送信した
研修局	① 新人職員のためのランクアップ研修会 (H29. 12. 9) ② 第 3 回 重度心身障害児 (者) 研修会 (H30. 2. 24) ③ 求められる次世代のリーダーへ向けて ～主任の役割を考える～ ④ 2018 年 9 月 29 日 PT・OT・ST 合同研修会
調査局	①施設リハ部門紹介 2018 年度版の作成
広報局	①平成 30 年 5 月国立病院理学療法士協議会九州部会会報誌 No. 24 ②平成 30 年 9 月国立病院理学療法士協議会九州部会会報誌 No. 25



## 活動報告

地区	福岡	特になし
	佐賀	長崎・佐賀合同研修会 平成 30 年 7 月 28 日 (土)
	長崎	会場：長崎医療センター
	大分	特になし
	熊本	特になし
	宮崎	①宮崎県合同懇親会 平成 30 年 2 月 ②鹿児島・宮崎県合同研修会 平成 30 年 6 月 30 日 (土)
	鹿児島	鹿児島・宮崎県合同研修会 平成 30 年 6 月 30 日 (土) 会場：南九州病院
	沖縄	特になし
選挙管理委員会	特になし	
倫理委員会	特になし	
キャリアアップシステム委員会	<p>①キャリアアップシステム委員会 開催 日時：平成 30 年 1 月 5 日 場所：大牟田病院 内容：プリセプター養成講習会内容検討</p> <p>②第 6 回プリセプター養成講習会 開催 日時：平成 30 年 3 月 21 日 場所：大牟田病院 参加者：30 名 (PT 18 名、OT 11 名、ST 1 名)</p> <p>③第 6 回プリセプター養成講習会 反省会 日時：平成 30 年 3 月 21 日 場所：大牟田病院</p> <p>④第 6 回プリセプター養成講習会時のアンケート結果 回収：30 名 (PT 18 名、OT 11 名、ST 1 名) 回収率：100%</p>	
職場環境を考える会	<p>① 「働きやすい職場」に関するアンケート集計 (H30. 4. 24)</p> <p>② 会議 サンメッセ鳥栖(H30. 7. 20)</p> <p>③ 「働きやすい職場」に関するアンケート結果発表 「職場の良いところ」に関するアンケート(H30. 9. 29)</p>	

# 活動報告

## 学会報告

### 第11回国立病院九州医療技術学会

平成30年1月27日（土） 会場：福岡県立ももち文化センター  
（ももちパレス）大ホール（福岡県）

テーマ：災害に備える ～予期せぬ事態への対応～

プログラム

- ・特別講演「医療の歴史と現代医療」 村中 光 グループ担当理事（当時）
- ・シンポジウム「災害に備える ～予期せぬ事態への対応～」

### 新人職員のためのランクアップ研修会

日時：平成29年12月9日 会場：九州医療センター

座長：

セッションⅠ

講演：「国立病院機構リハ部の職員に期待する事」

講師：国立病院九州グループ 理学療法専門職 羽島 厚裕

セッションⅡ

講演：「異動を経験して学んだこと」

講師：長崎病院 主任理学療法士 峰松 俊介

講演：「初めての異動を経験して」

講師：熊本医療センター 理学療法士 手光 文子

セッションⅢ

グループワーク：「新人職員が考える国立病院機構の問題点と解決策」

\*参加施設：7施設 参加人数：13名

### 第3回 重度心身障害児（者）研修会

日時：平成30年2月24日 会場：大牟田病院

セッションⅠ

講演：「国立病院機構における重症心身障害児（者）の動向

～統計資料から見えてくるもの～」

講師：熊本南病院 理学療法士長 藤崎 暢

講演：「ライフステージに応じた重症心身障害児（者）への関わり」

講師：南九州病院 理学療法士 仮屋 成美

セッションⅡ

全体討議：「重症心身障害児（者）に対するリハビリのこれまでとこれからの展望」

\*参加施設：12施設 参加人数：37名

## 求められる次世代のリーダーへ向けて ～主任の役割を考える～

日時：平成 30 年 7 月 14 日 会場：九州医療センター

### セッションⅠ

講演：「リハビリ部門組織の中での主任の役割」

講師：国立病院九州グループ 理学療法専門職 羽島 厚裕

### セッションⅡ

発表・アンケート報告

嬉野医療センター 主任理学療法士 篠崎 貴志

長崎病院 主任作業療法士 山重 佳

西別府病院 主任理学療法士 西崎 武文

佐賀病院 主任理学療法士 山野 朋博

### セッションⅢ

グループワーク：「リハ部門組織の中での主任の役割について」

\*参加施設：19 施設 参加人数：26 名



## PT・OT・ST 合同研修会

テーマ「世代間のギャップに注目して職場のメンタルヘルスについて考える」

日時：平成 30 年 9 月 29 日（土） 会場：福岡東医療センター

講師：船小屋病院 精神科医師 森 良信 先生



# 地区活動報告

## さが・ながさき合同研修会

日時：平成30年7月28日 会場：長崎医療センター

セッションⅠ 座長：錦戸 正樹 川棚医療センター 主任理学療法士

1. 右大腿骨転子部骨折骨接合術後症例報告  
～認知機能・身体機能の低下を呈した高齢者の自宅復帰に向けて～  
(川棚医療センター 理学療法士 宮島 遼太)
2. 縦隔気腫を合併した間質性肺炎に対する HOT 導入～運動耐容能が改善した症例～  
(長崎医療センター 理学療法士 一原 卓矢)
3. 離床に難渋した筋萎縮性側索症の一例  
～自己決定を促す呼吸リハビリテーションの介入を通して～  
(長崎病院 理学療法士 原口 玲未)

セッションⅡ 座長：今村奈那 東佐賀病院 主任理学療法士

1. 人工骨頭置換術後に早期自宅退院となるも後方脱臼を受傷した一症例  
(佐賀病院 理学療法士 山本 晴菜)
2. 目標設定することで ADL 向上に繋がったくも膜下出血患者について  
(嬉野医療センター 作業療法士 北島 佳代子)
3. 児童精神部門における作業療法 (肥前精神医療センター 作業療法士 岸本 混平)
4. 元ハンセン病患者との関わりを通して (東佐賀病院 作業療法士 中川 恭兵)

意見交換：研修運営マニュアル（案）についての意見交換 佐賀県理事 村上 寿一  
長崎県理事 峰松 俊介

## 平成30年度 さが・ながさき合同研修会を終えて

長崎病院 主任理学療法士 峰松 俊介

夏真っ盛りの7月28日、長崎医療センターにて毎年恒例のさが・ながさき合同研修会を開催しました。研修会場は、大学の教室のような造りの敷地内にある地域医療研修センターで行われ、参加者67名でした。県内7施設から1演題をエントリーしてもらい、各施設の状況やセラピストの患者さんとのかかわりなど、参加された方々は、機構の他の施設やスタッフのこと、さらによく知ることのできる機会となったのではないかと思います。プログラムの最後には、当研修会の今後安定した開催ができるよう、今後の運営方法について参加者で討議し、議事録を残す形となりました。これにより、来年度以降も継続的に開催できるものと思います。来年は、佐賀病院にて開催予定です。



## 鹿児島・宮崎合同研修会

日時：平成 30 年 6 月 30 日（土） 会場：南九州病院  
合同研修会長 榎木 大介

セッションⅠ 座長：湯田 大介 鹿児島医療センター 言語聴覚士

1. H30 年度の取り組みについて（宮崎東病院 理学療法士 山本 さおり）
2. がんリハにおける作業療法士の役割（指宿医療センター 作業療法士 久保 公博）
3. 地域での BLS 活動と南九州病院での取り組み（南九州病院 理学療法士 操 強志）

セッションⅡ 座長：森川憲人 宮崎病院 理学療法士

1. 10m 歩行で分かる…（宮崎東病院 理学療法士 白武功児）
2. 当院の AMI パス適応患者の現状と課題（指宿医療センター 理学療法士 山田 大輔）
3. 在宅サポート病棟（地域包括ケア）の開設 ～当院の現状と課題～  
（都城医療センター 主任理学療法士 出口 敬浩）

セッションⅢ 座長：森本 翼 南九州病院 作業療法士

1. 当院における早期リハビリテーション加算についての取り組みと今後の課題  
（鹿児島医療センター 主任理学療法士 黒岩 剛成）
2. 転倒を繰り返す一症例の考察と対策（星塚敬愛園 作業療法士 田畑一仁）
3. 思春期腰椎分離症に対し体幹装具を装着せずに外来理学療法を行った症例  
（宮崎病院 理学療法士 蓬原 春樹）

### 講評

九州グループ医療担当理学療法専門職 長崎病院 羽島厚裕

九州グループ医療担当作業療法専門職 西別府病院 高木利栄子

「病む人に学ぶ」

患者様とともに、安全で良質な、理想の医療の実現をめざします。



## 地区活動報告

平成 30 年度 鹿児島・宮崎県合同研修会を終えて

指宿医療センター 主任理学療法士 榎木大介

平成 30 年 6 月 30 日、南九州病院で鹿児島・宮崎県合同研修会が開催されました。本研修会は独法化直後から継続して開催されており今年で 14 回目となりました。例年は梅雨時期にあたり、天候に恵まれないことが多いですが、今年は汗がにじむような晴天のもと 7 施設から研修会に 58 名と多数の参加を頂きました。

今年は、私が 4 月に急遽、研修会長を言いつかった事もあり、特別講演など準備できなかったことで参加された皆様にはご迷惑をおかけした事と思います。しかしながら、会員発表においては参加された全施設から計 9 演題を頂きました。これもひとえに各職場長の先生方のご指導の賜物かと存じます。

発表においては各施設の主任の方を含め経験豊富な会員方から症例発表、今年度・来年度の取り組みや、業務モデルの考察等と多岐に渡りながら身近なテーマで、大変興味深く拝聴する事ができました。また、フロアからも長年続いている本研修らしく率直で演者の先生にとっても刺激になるような建設的な質疑も多かったのではないかと感じました。特に運動器疾患のリハの効果判定に競技復帰後の成績の向上を求められたのは地方会ならではの距離感であったりする反面、参加者のリハ医療の成果に対する意識の高さの表れであったろうと思います。

研修会終了後の懇親会も 47 名に参加頂き、普段の業務を労い、また普段はできない様なプライベートな話題まで盛大な場となっていました。私個人としましてもこれを機に参加施設の皆様が施設を超えて有機的に情報共有や業務の協力を行える関係を築いていけると願っております。

今回、研修会長を務めさせていただき、参加された会員の皆様には様々のご支援・ご協力を頂きました。会場を提供・準備いただいた南九州病院のスタッフや、研修会の運営にご指導いただいた鹿児島、宮崎県の両県理事の先生や、急なお願いにも関わらず座長を引き受けていただいた方及び、座長の先生をご指導いただいた各施設の指導者の方々には感謝の言葉も御座いません。

最後になりますが、来年度は宮崎病院が主幹事として開催される予定です。今後とも地方会ならではの魅力を築いていけるようお手伝いさせて頂こうと思います。



## 国立病院理学療法士協議会 九州部会活動計画（案）

### 第46期 活動計画

本部協議会行事として全国の理事会へ参加し、他地域との情報交換・共有を行う。部会の取り組みとして、職場長会議を2月と9月に開催し、各施設の意見交換・情報共有を行う。局活動では、研修として「地域包括ケア」「神経難病・筋ジストロフィー」等のテーマを計画している。施設リハ部門紹介の改訂、各種調査も予定し、5月と9月に会報誌を発行する予定である。適宜、ホームページを改訂し、OT協議会・ST協議会との連絡会やプリセプター養成講習会も継続して行う。加えて、県単位の研修会の開催、倫理委員会での情報発信、職場環境を考える会での啓発活動を予定している。選挙管理委員会の活動も行う。今期は、2月に佐賀病院研修ホールにて岡村武先生を学会長として九州部会学会の開催を予定している。また、リハビリ業務評価検討委員会を常設の委員会とし、適正な診療報酬請求の実施、請求漏れの是正に努める。

#### 事業内容

会長 副会長	①第34回国立病院理学療法士協議会理事会 兵庫県神戸市(H30.11.8) 第45回国立病院理学療法士協議会総会 兵庫県神戸市(H30.11.8)  ②国立病院理学療法士協議会九州部会理事会・職場長会議(H31.2.2) 第7回国立病院理学療法士協議会九州部会学会 佐賀病院(H31.2.2)  ③国立病院理学療法士協議会九州部会理事会・職場長会議(H31.9)  ④PT・OT・ST合同研修会(H31.9)  ⑤役員会
理事会	理事会開催予定(2回)  メールによる会議(随時)

## 活動計画

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>①文章発送（随時）</li> <li>②会員管理</li> <li>③会費徴収</li> <li>④総会、理事会、職場長会議議事録作成</li> <li>⑤協議会ホームページ管理（HP 担当）</li> </ul>
学会局	<ul style="list-style-type: none"> <li>①第7回国立病院理学療法士協議会九州部会学会              日時：平成31年2月2日（土）13時～17時（予定）              会場：佐賀病院 4階研修ホール              学会長：岡村 武（嬉野医療センター 理学療法士長）              内容：特別講演1題、一般演題8題（予定）              意見交換会：佐賀駅近辺（予定）</li> <li>②平成30年度業績集作成              平成30年3月末までに各職場に学会等の業績の取りまとめを予定しております</li> </ul>
研修局	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域包括ケア研修会（H30.12月）</li> <li>②神経難病・筋ジストロフィー研修会（H31.2月）</li> <li>③内容未定（H31.6月）</li> <li>④PT・OT・ST合同研修会（H31.9月）</li> </ul>
調査局	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設リハ部門紹介 2019年度版作成</li> <li>②各種調査実施</li> </ul>
広報局	<ul style="list-style-type: none"> <li>①国立病院理学療法士協議会九州部会会報誌 No. 26 発行</li> <li>②国立病院理学療法士協議会九州部会会報誌 No. 27 発行</li> </ul>

### 第7回 国立病院理学療法士協議会九州部会学会

**会場** NHO佐賀病院 研修ホール  
**会期** 平成31年2月2日（土）13時～

**基調講演** 佐賀県理学療法士会 会長  
**片瀧 宏輔先生**（佐賀県医療センター好生館）

**学会長** NHO嬉野医療センター 理学療法士長  
**岡村 武**

**演題申込期限** 平成30年11月9日（金）

申込は募集要項ご確認の上、メールにて下記学会事務局へ

事務局◎NHO佐賀病院 リハビリテーション科 山野朋博



E-Mail: t-yamano@saga-nh.hosp.go.jp

# 活動計画

地区	福岡	①情報交換会（主任以上の役職職員） 各施設の赤字幅が増え経営環境が切迫する中、診療報酬（単位数等）を含めリハビリテーション科としての方向性や各施設ごとの問題点を考える
	佐賀	平成 31 年 7 月に佐賀県主催で合同研修会を開催予定
	長崎	会場：佐賀病院(予定)
	大分	大分地区 3 病院合同懇親会を予定
	熊本	熊本地区 合同研修会を予定
	宮崎	①宮崎県合同懇親会 平成 31 年 2 月予定 ②鹿児島・宮崎県合同研修会 平成 31 年 6 月予定
	鹿児島	①平成 31 年 鹿児島県合同懇親会開催予定 ②平成 31 年 6 月鹿児島・宮崎合同研修会開催予定 (担当：宮崎病院)
	沖縄	3 施設合同懇親会開催
選挙管理委員会	役員選挙	
倫理委員会	倫理に関するパンフレットの作成・総会や学会でインフォメーションを行う	
キャリアアップシステム委員会	①実態調査アンケート実施 ②キャリアアップシステム委員会 開催 ③第 7 回プリセプター養成講習会 開催	
職場環境を考える会	① 平成 31 年 6 月 7 日 平成 30 年度第 1 回会合予定 ② 活動内容 ・総会にてアンケート調査を実施 ・各部会会報誌にて活動内容等を報告 ・「職場環境を考える期間」を設けて啓発活動等を実施 (毎年 6 月最終週頃)	
リハビリ業務評価検討委員会	定例会議予定	

リハビリテーション業務評価 【施設認可・管理・運営】			身障・精神科共通	
施設名				
大項目	小項目	評価	注 釈	
施設認可	施設基準に相当する面積は十分に満たしている	1 0 N		
	施設基準に応じた専従配置の必要スタッフ数を満たしている	1 0 N		
	施設基準に必要な物品は十分に満たしている	1 0 N		
	物品の管理は適切に行われている(危険物等の施設管理など)	1 0 N		
個人情報管理	個人情報漏洩の予防に努めている	1 0 N	ダブルチェックの実施など	
	週間の実施予定・実施表を担当者ごとに作成し、すぐに提示できるような体制となっている	1 0 N	診療点数早見表等に明確な記載はない。適時調査や個別指導など、監査時の指摘事項の情報より項目を掲載	
予定表・実施表 リハビリテーション	外来・入院患者がわかるように明記されている	1 0 N		
	1日当たりの担当者ごとの実績数が明確になるように作成、管理されている	1 0 N		
マニュアル	医療安全マニュアルは常備している	1 0 N	マニュアルの内容・場所は周知されている	
	感染対策マニュアルは常備している	1 0 N		
	緊急時マニュアルは常備している	1 0 N		

【評価基準】 適切もしくは概ね適切に実施されている：1点 非実施もしくは実施されているが不適切：0点 非該当：N

# 議事録

## PT・OT・ST 連絡会 議事録

期日：平成 30 年 6 月 15 日 場所：九州医療センター  
参加者：PT 協議会会長坂本、OT 協議会会長田中、ST 協議会会長佐藤

### 議題

#### 1. H30 年度総会（確認事項と懸案事項）

場所：福岡東医療センター 日時：9/29（土）13:00～15:00

研修会内容：森先生「コミュニケーションについて～世代間のギャップ～」

15:10～（1 時間の予定：質疑応答含め）

懇親会進捗状況：

各協議会から担当者を決めて共同で進めている。

福岡東で親睦会等を開く仕出し屋と連絡済み。

先方からは 3 週間には人数確定の依頼あり（～9/7）

金額は一人当たり 1000 円程度で検討。

お寿司・サンドイッチ・お菓子・ジュースなど（アルコールなし）

会員へは 8/10 位に案内を出す予定である。

#### 2. 主任会について

7 月 14 日（土）に主任をテーマにした研修会を行う。

現在の士長会に準じて、PT・OT・ST 協議会とは別の組織として位置づける。

その為、各協議会が総会時に会員に承認を得ておく。

各協議会は側面から応援していく。

#### 3. 職場環境を考える会

昨年、総会時にアンケートを行ったのでその結果を今年の総会時に発表する。

発表は坂本が担当する。今後の活動方針等を確認するため総会前に会の集まりを行う。

7 月 20 日（金）が第一候補である。

#### 4. OT 協議会の選挙情報について

会長：塚原先生（肥前精神医療センター）

キャリアアップ：池野先生（大牟田病院）

リハビリテーション内部監査：中野先生（菊池病院）

職場環境を考える会：平位先生（南九州病院）

### その他

リハビリテーション業務改善委員会の常設委員会の設置に関して

上記委員会を常設の委員会として設置する方向で進める。

PT 専門職、OT 専門職、士長会 1 名、PT 協議会 2 名、OT 協議会 2 名、ST 協議会 1 名で

構成する。各協議会が総会時に会員に承認を得ておく。

## 国立病院理学療法士協議会九州部会 役員会 議事録

日時：平成 30 年 6 月 29 日（金）20：00～22：00

場所：熊本県熊本市

出席者：坂本浩樹・藤崎暢・渡邊靖晃

### 議題

#### 1. 協議会運営に関して

##### 1) 活動状況と今後の計画

- 研修局：平成 29 年 12 月 9 日（土）「新人職員のためのランクアップ研修  
～新人療法士の知っておくこと と これから～」開催  
平成 30 年 2 月 24 日（土）「重度心身障害児（者）研修会」開催  
平成 30 年 7 月 14 日（土）（予定）「求められる次世代のリーダーへ向けて  
～主任の役割を考える～」  
平成 30 年 9 月 29 日（土）（予定）PT・OT・ST 協議会合同研修会  
「コミュニケーションにおける世代間のギャップを解消する」
- 学会局：平成 30 年 1 月 27 日（土）第 11 回国立病院九州医療技術学会 開催  
平成 30 年 5 月 13 日（日）平成 29 年度九州部会 年報業績集送信  
平成 31 年 2 月 2 日（土）（予定）第 7 回国立病院理学療法士協議会  
九州部会学会
- 広報局：平成 30 年 5 月 15 日（火）国立病院理学療法士協議会九州部会  
会報誌 vol. 24  
平成 30 年 9 月 29 日（土）（予定）国立病院理学療法士協議会九州部会  
会報誌 vol. 25
- 調査局：平成 30 年 5 月 31 日（木）九州管内施設紹介更新の依頼
- 事務局：平成 30 年 5 月 21 日（月）平成 30 年 5 月 1 日付 PT スタッフ名簿調査 他  
キャリアアップシステム委員会：  
平成 30 年 1 月 5 日（金）プリセプター養成講習会受講者調査  
平成 30 年 1 月 5 日（金）キャリアアップシステム委員会  
平成 30 年 3 月 21 日（水）平成 29 年度 リハ部門プリセプター養成講習会
- 倫理委員会：相談窓口業務
- 職場環境を考える会：  
平成 30 年 4 月 24 日（火）「働きやすい職場」に関するアンケート集計  
平成 30 年 7 月 20 日（金）委員会開催

# 議事録

2) 第 45 期総会日程と研修内容、場所について

日程：平成 30 年 9 月 29 日（土）

会場：福岡東医療センター

2. 全国理事会報告：平成 30 年 6 月 9 日（土） 会場：東京医療センター

1) ホームページを本部管理とした。

2) 各地区から報告。

3) 今回、秋の理事会も総合医学会の前日に行う。

4) 来年の、総合医学会は近畿部会が担当で、シンポジウムの準備が進んでいる。

5) 提言書に関して意見があれば、伝えてほしい。

6) 国立医療学会入会を促進してほしい。

3. POS 連絡会報告：平成 30 年 6 月 15 日（金）

平成 30 年度合同研修会、主任会、職場環境を考える会、

リハビリテーション業務改善委員会の常設に関して

4. リハビリ業務評価検討委員会の常設に関して

PT・OT 専門職、士長会、各協議会のメンバーで常設の委員会として活動していく方向である。

5. 主任会（仮）との関わりに関して

士長会に準じ、協議会とは別組織での運用の方向である。側面から応援していく。

6. 学会誌印刷に関して：会報誌 vol. 25 に関して

秋の会報誌は今まで自分たちで印刷綴じ込みを行っていた。会員が 200 名を超え、大変な作業と予想される。会誌は業者に依頼している職種も見受けられ、当協議会も見直しの時期に来ている。

7. 第 72 回総合医学会 理事会・協議会総会に関して

平成 30 年 11 月 9 日（金）～10 日（土）会場：神戸国際会議場・神戸国際展示場

11 月 8 日（木）に全国理事会、総会、懇親会を開催予定である

8. 第 7 回国立病院理学療法士協議会九州部会学会に関して

平成 31 年 2 月 2 日（土）（予定） 会場：佐賀病院で開催予定

学会長：岡村 武（嬉野医療センター）先生の下で準備を行っている。

## 神経難病のリハビリについて～ロボットスーツ HAL を導入して

宮崎東病院 理学療法士 椎木 陽啓

鉄腕アトム、ガンダム、ロボコップ、ターミネーター、……。様々なロボットが漫画や映画の中で描かれてきました。そのロボットが少しずつ実用化され、リハビリの世界にも導入される時代がやってきました。それがロボットスーツ HAL（以下「HAL」という。）です。

HAL (Hybrid Assistive Limb) は、身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる、世界初のサイボーグ型ロボットです。身体に HAL を装着することで、「人」「機械」「情報」を融合させ、身体の不自由な方をアシストしたり、いつもより大きな力を出したり、さらに、脳・神経系への運動学習を促すシステムです。保険適用疾患は①脊髄性筋萎縮症、②球脊髄性筋萎縮症、③筋萎縮性側索硬化症、④シャルコー・マリー・トゥー ス病、⑤遠位型ミオパチー、⑥封入体筋炎、⑦先天性ミオパチー、⑧筋ジストロフィーの患者です。

当院は神経難病の拠点病院であり、HAL 治療を 7 月から開始しました。主な HAL 対象患者様は筋ジストロフィーや ALS の方です。対象条件は、①体重 40～100kg、身長 160～175cm 程度の方 (M サイズ)、②大腿長、下腿長など身体サイズが合い、HAL の装着が可能な方、③現在何とか歩行が可能な方、④介助または歩行補助具を使用することで、10m 以上歩行可能な方、⑤原則として 1 ヶ月の入院が可能な方、⑥意識障害、高次脳機能障害、認知症状、精神症状など生活上のトラブルがない方です。HAL 治療は月に 2 名行い、1 名につき 9 回実施します。HAL 治療にはモード設定など操作する者が 1 名、オール・イン・ワンという歩行器を操作する者が 1 名、計 2 名のリハビリスタッフにて対応します。オール・イン・ワンは、立位が不安定な方でも行動範囲に制限を受けることなく、安全かつ快適に歩行を楽しむための歩行器で、HAL 治療には必要な周辺機器です。バッテリー駆動の免荷式リフトによりワンタッチで免荷量を調整することができ、より安全な歩行練習を提供します。また、HAL 治療前後にて筋力測定や歩行の撮影など評価を行い、退院前カンファレンスにて、評価を基に今後の HAL 治療継続の有無などを検討します。

リハビリ科には PT4 名、OT2 名の計 6 名で構成された HAL メンバーが在籍しています。HAL を取り扱うためには半日の院内講習の受講が必須です。神経内科医 1 名、上記リハスタッフ 6 名が参加しました。さらに、HAL メンバーの中の 2 名は HAL をより精密に操作できるようにするため、3 日間の院外講習（長崎県）を受講しました。私は、有難い事に、院外講習まで受講させて頂きました。HAL の装着、モード設定、評価方法など学ぶことばかりで、大変貴重な 3 日間でした。

導入開始時は装着や操作に戸惑うことが多かったですが、今では少しずつ対応できるようになりました。治療効果として、患者さんからは「足が軽くなった」、「移乗しやすくなった」といった声も聞かれ、歩行距離が延長した方もいます。

宮崎では HAL が初めて導入されたということで、地元のニュースでも取り上げられ注目

されています。患者様の歩行練習中の撮影やご家族の皆様も含めたインタビューなど取材の協力をして頂きました。また、アナウンサーにも HAL というのはどのようなものか実際に装着し体験して頂きました。

私達は HAL 治療の効果について臨床研究に取り組んでいます。この取り組みが今後のリハビリの役立つものに、そして、HAL 治療により患者様の ADL、QOL が高まるとともに、笑顔が少しでも多くみられるよう努力して参ります。



## 国立病院機構の一員となり 1年目を終えて

長崎病院 理学療法士 東 隼

昨年4月から長崎病院で理学療法士として勤務している東隼と申します。以前は民間の総合病院で4年間勤務していました。国立病院機構に再就職しようと思った理由は転勤が頻回にある点でした。病院によって役割や考え方が違うので幅広い視野を持って仕事ができると思ったからです。経験者として長崎病院での勤務となりましたが、わからないことも多く自分の視野の狭さや知識の浅さを日々痛感しています。長崎病院では地域包括ケア病棟の専従、プリセプター、臨床実習指導者などをしてしていますが、業務を通して学ぶことも多くとても充実した日々を過ごしています。また国立病院機構には機構独自の研修会や学会が多いので驚きました。それらを通して知識や考えが磨くことができるので、とても魅力的な部分だと感じています。今後も転勤、研修会、学会を通じて理学療法士としてのキャリアを磨いていきたいと考えています。今後とも宜しくお願い致します。

名前 : 東 隼 (あずま はやと)

出身地 : 静岡県静岡市

趣味 : 映画鑑賞、運動全般

一言 : 長崎病院は面白いスタッフも多いので、毎日楽しく働かせていただいております。恵まれた環境に感謝しながら精進していきたいと考えております。

## 九州部会 役員名簿

平成 30 年 10 月 1 日現在

### 会長

坂本 浩樹（熊本再春荘病院） 理学療法士長

### 副会長

藤崎 暢（熊本南病院） 理学療法士長

渡邊 靖晃（佐賀病院） 副理学療法士長

### 県理事

[福岡]	竹下 明伸	（福岡病院）	理学療法士長
[佐賀]	村上 寿一	（嬉野医療センター）	副理学療法士長
[長崎]	峰松 俊介	（長崎病院）	主任理学療法士
[大分]	河野 泰之	（別府医療センター）	主任理学療法士
[熊本]	石原 亮一	（熊本医療センター）	主任理学療法士
[宮崎]	出口 敬浩	（都城医療センター）	主任理学療法士
[鹿児島]	福山 浩二	（南九州病院）	主任理学療法士
[沖縄]	今村 康子	（沖縄病院）	理学療法士長

### 監事・相談役

井形 勉（福岡東医療センター） 理学療法士長

梶原 秀明（大分医療センター） 理学療法士長

### 選挙管理委員

福満 俊和（長崎医療センター） 主任理学療法士

溝口 智紀（大分医療センター） 理学療法士

### 局長

[事務局（熊本再春荘病院）]  
 事務局長：水城 達也 会計：宮本 弘太郎 HP 担当：島津 貴幸

[学会] 山野 朋博（佐賀病院） 主任理学療法士

[研修] 与古田 巨海（福岡病院） 主任理学療法士

[調査] 今村 奈那（東佐賀病院） 主任理学療法士

[広報] 黒岩 剛成（鹿児島医療センター） 主任理学療法士

### キャリアアップシステム委員

羽島 厚裕（長崎病院） 理学療法士長

由谷 仁（大牟田病院） 主任理学療法士

### 職場環境を考える会 委員

大浦 宏樹（西別府病院） 理学療法士長

梶原 秀明 坂本 浩樹 羽島 厚裕

### 倫理委員

広田 美江（別府医療センター） 理学療法士長

口石 智秀（菊池恵楓園） 副理学療法士長

### リハビリ業務評価検討委員（案）

羽島 厚裕 梶原 秀明 福満 俊和

国立理学療法士協議会九州部会 第46期活動スケジュール(案)

	会議	会長・副会長	事務局	研修局	学会局	広報局	調査局	キャリアアップシステム委員会	選挙管理委員会	倫理委員会	職場環境を考える会	リハビリ業務検討委員会
H30 10月			会費徴収・本部送金									
11月		本部協議会理事会・総会 8日 神戸										
12月			年賀状発送	地域包括ケア研修会								
H31 1月								委員会開催				
2月	理事会 職場長会議	九州部会学会 2日 佐賀病院		神経難病・筋ジストロ フィー研修会	九州部会学会 2日 佐賀病院							
3月					業績集収集			第7回プリゼンター 養成講習会				
4月		九州グループ新人研修講師、 国立病院九州医療技術協議会 理事会	人事異動状況調査 名簿、連絡先作成		国立病院九州医 療技術学会開催 準備							
5月		POS協議会連絡会 役員会				会報誌発行			役員改選公示			
6月		本部協議会理事会		部会研修会 (テーマ未定)							会議開催 7日 職場環境を考える週間 24日-30日	
7月			総会等案内				施設リハビリ 部門調査		立候補者取り締め			
8月			総会等案内発送									
9月	総会・理事会 職場長会議		総会資料作成	総会時研修会 (テーマ未定)		会報誌発行			総会時、必要に 応じ選挙実施			
備考			随時対応 HP更新				随時、調査実施	実態調査アンケート 実施予定		随時対応	「職場の良いところ」 アンケートまとめ	随時対応

### 編集後記

このたび九州・西日本地方を中心とし、各地で甚大な被害をもたらした豪雨災害により被災された方、ご家族ならびに関係者の皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

先ごろ医療制度の改革の研修を受ける機会に恵まれたのですが、『今後の医療制度改革により医療提供体制が変化する。各病院が地域の課題、ニーズに対し期待される機能を発揮する事が求められる』というフレーズが度々聞かれました。各施設が大きく舵取りを迫られる中、もう理学療法士という単独部門では解決困難な課題が多く、今までのやり方では対応できない印象をうけました。私個人としても、今年から麻酔科医師、集中ケア認定看護師と協同しリハビリを実施する機会が多くなりました。今までは1人でどうにもならず閉塞感を感じることもありましたが、チームで取り組むことで非常に力を受けているところです。九州部会の会員数も更に増えています。相互に助け合える、協力しあえる九州部会を更に進めていただけたらと思います。

広報局 国立病院機構 鹿児島医療センター リハビリテーション部 黒岩剛成